



ID: 1487

科目名	アジア経済論【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	梅本 克			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態			
授業概要							
戦後東アジアの経済発展は、高度成長と平等の同時達成に特徴づけられる。なぜ東アジアでは数十年にわたる持続的な経済成長が可能であったのか。しかもこの経済成長は、なぜ大きな格差を生むことなく達成しえたのか。本講義では、極めてユニークな東アジアの経験の諸側面を取り上げるとともに、今後の東アジアの経済発展と不可分の関係にあるアジア太平洋地域の経済協力をめぐる諸問題を考察する。							
到達目標							
東アジアの高度成長に関して、一般的な経済理論で説明できる部分、現実が経済理論を先行している部分があることを認識・説明できることを到達目標とする。							
授業計画							
第1回	アジア理解の魅力						
第2回	工業化とグローバル化						
第3回	政治体制の変動						
第4回	アジアをめぐる国際関係						
第5回	韓国						
第6回	中国						
第7回	台湾						
第8回	インドネシア						
第9回	フィリピン						
第10回	マレーシア						
第11回	タイ						
第12回	ベトナム						
第13回	ASEAN						
第14回	インド						
第15回	総復習						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業態度、その他の課題、期末試験で評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20	0	40	40
授業外学習			テキスト、教材				
特に予定なし。			特に指定せず。				
参考書			受講生へのメッセージ				
「アジアの政治経済・入門 新版」有斐閣、「東アジアの開発経済学」有斐閣、「アジア経済論」ミネルヴァ書房、「アジア経済読本」東洋経済新報社			特に予備知識は必要なし。				
キーワード							